

中村元記念館

Nakamura Hajime  
Memorial Hall  
नाकामुरा हाजीमे स्मारक सभागृह

東方学院松江校  
中村元記念館文化講座

受講の手引き



2026年度

2026.4.1 - 2027.3.31



中村元先生とガンガー（パトナ）一行きわきて流氷ながれてやがてガンガーサーガルに至る一

# 東方学院

## 理念

〈人間〉の回復をめざし  
財団法人東方研究会を母胎として  
ここに『東方学院』を開設しました。  
『東方学院』は本学院の理想に賛同する学者個人と  
そのもとで学ぼうとする学徒とによって構成される  
共同体としてのグループの連合です。  
〈個人指導の場の共同体〉とでもいふべきものをめざしています。

**The Toho Gakuin (The Eastern Academy) was established  
with the hope of contributing to the restoration of human integrity.  
This Academy is a cooperative body of various academic communities  
of scholars and students wishing to learn,  
in which scholars provide personal guidance to the students.  
Above all, our aim is to have this Academy be the rallying point  
for students and scholars.**

東方学院松江校の運営は特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所が行います。

## 目次

東方学院 理念	2
ごあいさつ・東方学院松江校とは	4
中村元記念館 各種講座受講のご案内	6
中村元記念館 2026年度講義一覧	10
東方学院松江校 講義案内	12
中村元記念館文化講座 講義案内	26
2026年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座 年間スケジュール	34
各講座へのお申込みのご案内	36
2026年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書	37
中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集	39
中村元記念館ボランティアサポーター募集	39
慈しみ(東方学院歌)	40
アクセス	41

表紙絵：  
中村元先生とガンガー（バトナ）  
—行きゆきて 流れながれて  
やがてガンガーサーガルに至る—  
画：石川 響

## 慈しみ

一切の生きとし生けるものは  
幸福であれ 安穩であれ 安楽であれ  
一切の生きとし生けるものは 幸であれ  
何びとも他人を欺いてはならない  
たとどこにあっても  
他人を軽んじてはならない  
互いに他人に苦痛を与える  
ことを望んではならない  
この慈しみの心づかいを  
しっかりと たもて

中村元訳 ブッダのことば

## 中村 元

(1912~1999)



インド哲学・仏教学の世界的権威であり、比較思想学の開拓者。1500点を超える膨大な著作・論文を発表し、我が国における思想研究の分野を大きく発展させた。従来のセクショナリズムにとらわれない壮大な世界思想史を構築し、その業績は海外でも高く評価されている。

大正元年島根県松江市に生まれ、東京帝国大学でインド哲学を学ぶ。同大学名誉教授。昭和45年財団法人東方研究会（現公益財団法人中村元東方研究所）を設立。昭和48年東方学院を設立し、学院長に就任。昭和49年紫綬褒章、昭和52年文化勲章受章。平成元年松江市名誉市民。

主な著書に『広説佛敎語大辞典』（東京書籍）、『初期ヴェーダーンタ哲学史』（岩波書店）、『東洋人の思惟方法』シリーズ、『インド史』（春秋社）、他多数。



東方学院長  
藤井 教公  
(公益財団法人)中村元東方研究所理事長・中村元記念館館長  
国際仏教学大学院大学名誉教授・北海道大学名誉教授

島根県松江市の中海に浮かぶ大根島。この島のほぼ中央部に松江市八東町支所の庁舎があり、その二階に中村元記念館があります。この記念館は松江市出身の世界的インド哲学・仏教学の泰斗、中村元博士を記念する会館で、当時中村元東方研究所理事長（現名誉理事長）の前田専學博士が発願し、地元の清水谷善圭師らの尽力によって平成24年10月10日、中村博士生誕百周年の年、設立されたものです。

館内には中村元博士の3万4千冊に上る蔵書の一部が展示され、一画には博士が執筆活動をされた書斎そのままが再現され、机や椅子、文房具など、数々の遺品とともに、生前の博士の有様を彷彿とさせる空間を創出しています。

中村元博士は東大を退官後、昭和48年に東京の千代田区に東方学院を開設され、「現代の寺子屋」として多くの勉学の徒を導いてこられました。その活動は50年後の現在まで立派に受け継がれています。

その現れの一つがこの記念館における東方学院松江校の開設です。松江校は記念館開設の翌年の平成25年、東京の東方学院本校との緊密な連携のもとに開設されました。この松江校の中にも中村博士の精神が脈々と流れています。お互いが中村博士の提唱した「慈しみの心」を胸に刻んで、共に勉強しようではありませんか。

老若男女を問わず、誰もが東洋思想について学べる場所  
——それが東方学院です。

東方学院は、インド哲学・仏教学の世界的権威である故中村元博士によって、1973年に財団法人東方研究会（現 公益財団法人中村元東方研究所）を母胎として設立されました。

「真に教えたい一人と、真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ」という中村博士の理念に基づき、学問のセクショナリズムにとらわれない現代の寺子屋として、東京本校・関西教室・中部教室で、多くの人々が東洋思想について教え、学び、日々研鑽を深めています。

そして平成25年4月、中村博士の出身地、島根県松江市の中村元記念館に東方学院松江校が開校されました。

「心の時代」といわれる現代社会、多くの人々が「どのように生きるべきか」という問いを抱えています。中村博士は生涯、インド哲学や仏教をはじめとした東洋の思想を通じて、私たちの「生きる道」を説き続けました。

学問とは真理の探究であり、その扉はいつでも、誰にでも開かれています。

あなたも東方学院松江校で、奥深い魅力にあふれた東洋の智慧を学んでみませんか？

## ◆ 東方学院の特徴

- ・ 真に学を究め、道を求めたい人々の学院です。学歴・年齢・職業・国籍・性別などを問いません。
- ・ 専門家のあいだの縄張り意識の無い学院です。だれでも自由に学問を延ばすことができます。
- ・ 講師と研究会員との人間的連絡が緊密です。講師は懇切に指導をいたします。同学の人々とながく協同することが可能です。
- ・ 各講師は奉仕的に指導をいたしますから、若干の分野においては、日本におけるどの大学よりもはるかに詳しい講義がなされています。
- ・ 従来の大学ではなされていないテーマで斬新な講義や実習指導がなされています。
- ・ 学問には熱意が最も大切です。したがって熱意のある方々はいつでも入学できます。
- ・ 東方学院の講義を受講される方を本学院では「研究会員」と称します。

## ◆ 東方学院設立の経緯と意義

東方学院は、創立者中村元の東京大学退官とともに、昭和45年11月に文部省より財団設立の認可を受けた財団法人東方研究会（現公益財団法人中村元東方研究所）を母胎として、昭和48年に設立されました。

その大きな動機は、当時、大学に吹き荒れた学園紛争にともない、学術的には減退傾向にあり、また精神的な砂漠化のさなかにあつて、学術的精神的な拠点となりうる、小さくともしっかりした学院をつくることにありました。そして学問の自由を制約することになる縄張り意識の強いセクショナリズムを廃して、真理探究を目的とする学問本来の姿を回復するためでありました。

大学の外につくることでセクショナリズムを脱し、またカルチャー・センターとも異なる一種の私塾、つまり現代の「寺子屋」として出発しました。真に教えたい一人と真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ—これが創立者・中村元の信念であり、まさに東方学院の原点といえます。

幸いにも、このような考えに同調し、協力を申し出る人々が集まり、学院は開講されました。狭いビルの一角を間借りし手弁当を持ち寄って、文字どおりの「寺子屋」が始まったのです。

しかし、財団の基盤を強固にし、学院を発展させていくためには、しっかりとした学問研究の場所を確保する必要がありました。そこで、創立者の私財をもとに、財団設立に協力して下さった篤志家の方々が、昭和57年「財団法人東方研究会強化募金運動」を開始されました。一高時代の同窓生（「昭8文乙クラス会」のメンバー）である中村敏夫弁護士をはじめとして、同じく星埜保雄、宇佐見鉄雄、倉知善一、新井正明氏らが発起人となり、その資金集めから場所の確保にいたるまで実に並々ならぬご尽力を下さいました。そのおかげで、諸方面から多数の賛同者・協力者を得ることができ、現在のこの場所を入手するにいたりました。東方学院は、これらの人々によって築かれた土台の上に、今日成り立っております。

以来、当学院は、優れた数多くの講師を迎え、多くの方々の善意と学問への熱意によって支えられ発展して参りました。

今後も創立者の遺志を継承し、初心を忘れることなく、ますます発展していきますことを心より念願しております。

公益財団法人中村元東方研究所  
第2代理事長 中村 洛子  
(1919~2010)

# 中村元記念館 各種講座受講のご案内

中村元記念館では、次の講座を開講しています。

## 1. 東方学院松江校講座 (No.1～No.14)

東方学院松江校 研究会員の方が受講できる講座です。

受講を希望される方は、年度ごとに研究会員のお申込み(有料)をお願いいたします。

### 【東方学院松江校 研究会員について】

■ 年会費 3,000円

■ 会員期間

4月1日以降のご登録日(会費納入日)から年度末(3月31日)まで

■ 会員特典

①東方学院松江校の各講座を受講できます。

(講座ごとに、別途37ページの表の受講料が必要です。)

②中村元記念館ミュージアムショップでの書籍購入に会員割引(5%OFF)が適用されます。

③中村元記念館で開催する有料イベントに会員優待価格(20%OFF)でご参加いただけます。

④次年度の「受講の手引き」のほか、特別講座のご案内などをお届けします。



## 2. 中村元記念館文化講座 (No.15～No.22)

どなたでも「各講座の受講料のみ」で参加できる講座です(年会費不要)。

初めての方でも、気軽にご参加いただける内容となっています。

※文化講座のみ受講の方には、その年度の東方学院松江校研究会員特典は適用されません(次年度の「受講の手引き」はお届けいたします)。

### 受講料早期納入割引特典

各講義とも、開講日の1週間前までにお申し込み・ご入金されると、受講料が1,000円割引になります。

(注1) お申込書の提出だけでは割引は適用されません。1週間前までのご入金が必要です。

※開講日が土・日・月曜日の場合は、開講日直前の火曜日までとします。

(注2) 東方学院松江校講座は年会費・受講料の両方のご入金確認後に割引適用となります。

## 【重要】開講中止について

各開講日の1週間前（早期割引適用期限日）の時点で、受講のお申込みのない講座については、当年度の開講を中止いたします。2回目以降の講義から受講を予定されている方も、開講日の1週間前までにお申し込みください。開講中止となった講座につきましては、記念館ホームページ、SNS（Facebook・X）などでお知らせいたします。

## 体験受講制度について

東方学院松江校講座・中村元記念館文化講座の一部については、原則第1回目の講座に限り体験受講制度をご利用いただけます。

体験受講には事前申し込みが必要となりますので、ご希望の方は記念館あてにご連絡ください。

### ■ 対象講座（2026年度）

今年度は次の講座で体験受講制度をご利用いただけます。

- ①東方学院松江校 No.1（12ページ）
- ②中村元記念館 文化講座 No.15（26ページ）～No.17（28ページ）

### ■ 体験受講料：2,000円

- ①東方学院松江校講座も、研究会員年会費なしで体験受講が可能です。
- ②体験受講のみをお申込みの場合、研究会員特典はご利用いただけません。
- ③体験受講後、該当する講座の正式受講のお申込みをされる場合は、正規受講料金のうち体験受講料該当額2,000円をお支払い済みとしてお取扱いいたします（通常お申込みになる場合と、合計額は同額となります）。
- ④該当する講座が東方学院松江校講座である場合、正式受講のお申込み時に別途研究会員年会費3,000円が必要となります（すでに同年度内に他の東方学院松江校講座を受講され、年会費をお支払いいただいている方、該当する講座が中村元記念館文化講座の方は不要です）。

## 受講にあたっての留意事項

- ①講座によっては受講料のほかに、別途テキスト・教材などの購入が必要な講座がございます。  
→12～33ページの各講座案内をご確認ください。
- ②一旦納入された受講料、年会費、入会金は原則としてお返しいたしません。
- ③原則として、申込されたご本人以外の受講はできません。
- ④講師や他の受講生の迷惑となる行為があった場合、受講をお断りする場合があります。  
講座時間内での録音・録画・写真撮影は禁止です。
- ⑤講師から配布されたレジュメ（講義資料）その他参考資料について、受講生ご本人の学習目的以外でのご利用はお断りいたします。  
(第三者への譲渡を目的とした複製、改版、二次利用などはお控えください。)
- ⑥布教活動・政治活動・物品販売など講座に関係のない行為はお控えください。

# 各講座の開催方法について

東方学院松江校・中村元記念館文化講座は、つぎの3種類のいずれかの方法で開催されます。開催方法は、10～11ページの講義一覧ならびに12～33ページの各講義案内でご確認ください。

## 1. 開催方法「対面のみ」

講師：記念館 受講生のみなさま：記念館

講師の先生が、記念館で授業を行う直接対面方式の講義です。受講場所は、中村元記念館内にある講義スペースのみとなり、ご自宅では受講できません。受講生の皆様は記念館にお越しください。

## 2. 開催方法「対面併用」

講師：記念館 受講生のみなさま：記念館かご自宅

講師の先生は、記念館内の教室で講義を実施します。受講生のみなさまは、①「記念館（先生と同じ教室で直接受講する）」か、②「自宅（Zoomを使ってご自宅でオンライン受講する）」のいずれかをお選びください。

## 3. 開催方法「オンライン」

講師：ご自宅など 受講生のみなさま：記念館かご自宅

講師の先生は、記念館にはお越しにならない、Zoom経由でのオンライン講義形式です。受講生のみなさまは、①「記念館（記念館のオンライン講義用施設（大型テレビ、カメラ、マイク）を使ってほかの受講生の皆様と一緒に受講する）」か、②「自宅（Zoomを使ってご自宅でオンライン受講する）」のいずれかをお選びください。

## オンライン受講について

10～11ページの講義一覧、12～33ページの各講義案内の「開催方法」が「対面併用」もしくは「オンライン」と記載されている講義は、ご自宅でのオンライン受講が可能です。

オンライン受講が初めての方で、操作に不安のある方は、事務局スタッフが事前の動作確認テストなどご利用のお手伝いをいたしますのでご相談ください。

また、「Zoomはじめてマニュアル」もご用意しております。

### ■ オンライン受講に必要な準備

オンライン受講には、次のご準備が必要になります。

#### ① インターネット接続サービス

動画・音声の送受信を双方向で行うため、大容量通信が可能であることをご確認ください。

#### ② ノートパソコン、タブレットなどのマイクとカメラが使用可能な端末

※スマートフォンでも受信できますが、講義画面が小さく見にくい場合があります。

#### ③ Zoomアプリケーション（無料）のインストール

#### ④ メールアドレス（Zoom接続情報、講義資料のお届けに必要です）



いくらつかっても  
定額の接続プランが  
おすすめです♪

## ■ オンライン受講のお申込みについて

オンライン受講をご希望の方は、37ページ「2026年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書」の「受講場所」の該当する講座の欄に○を記入してください（該当欄に斜線がある講義は、オンライン受講できません（対面のみ））。

自宅電話		携帯電話		<b>記念館か自宅を選んで○</b>	
E-mail		F A X			

◆ 東方学院松江校講座（No.1～14）を受講される場合は、各受講料の他に3000円の年会費が必要となります。  
中村元記念館文化講座（No.15～22）のみを受講される場合は、必要ありません。

◆ 受講を希望する講座Noと受講料（早割適用の場合は早割の受講料）に○をつけてください。 受講する場所に○を入れてください

種別	No	講義名	講師名	受講料	受講料 (早割)	早割 締切日	受講場所		記入欄	
							記念館	自宅	担当	データ
東方学院	1	『往生論註（浄土論註）』を読む	齊藤 舜健	¥20,200	¥19,200	4月10日		/		
	2	現代インドの社会と文化	加藤 隆宏	¥9,000	¥8,000	5月26日		○		
	3	仏教の自然観	渡辺 章悟	¥7,000	¥6,000	6月17日				
	4	AI時代に拓かれる仏教の智慧の力	下田 正弘	¥5,000	¥4,000	7月7日				
	5	アビダルマの“いし”	木村 紫	¥9,000	¥8,000	7月21日				
	6	日本近世における修行道	蓑輪 顕量	¥9,000	¥8,000	7月28日				
	7	『正法眼蔵』の思想	頼住 光子	¥5,000	¥4,000	7月28日				

## オンライン受講にあたってのお願い

- ①講義資料の郵送をご希望の方は、お届け期間が必要になりますので、日数に余裕をもったお申込みをお願いいたします。直前にお申込みになられた場合、講義開始までにお届けできない場合があります。
- ②初めて当館のオンライン講座をご利用になられる方には、専用の説明資料をご用意し、準備・受講中を通して事務局スタッフがサポートいたしますが、ご自宅のインターネット通信環境、パソコン本体や周辺機器のトラブルについては対処できません。また基本的なパソコン操作（マウス操作、キーボード操作での文字入力など）にご不安のある方は、ご家族や知人の方にご協力いただくようお願いいたします。
- ③受講生ご本人の方の受講を確認するため、Zoom画面上でお名前（お申込み氏名）とお顔（カメラ画像）が事務局スタッフ・講師から見えるようにしてください。

## お問い合わせ先（事務局連絡先）

東方学院松江校講座・中村元記念館文化講座に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

### ■ 中村元記念館 講座事務局（受付時間 火～日 / 9:30～17:00）

電話：0852-76-9593

FAX：0852-76-9693

メール：[kouza@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp](mailto:kouza@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp)

# 中村元記念館 2026年度講義一覧

## 東方学院松江校

No	講義題目	講師名	回数	開催方法	日程・時間	開校日 (早割期限)	会員料金 (早割価格)
1	『往生論註(浄土論註)』 を読む	齊藤 舜健	12	対面のみ	1~3回/月 第1・3・5金曜日 ※月によって回数が異なります ②	4/17 (4/10)	20,200 (19,200)
2	現代インドの社会と文化	加藤 隆宏	4	対面併用	5/30 ②③ 5/31 ①②	5/30 (5/26)	9,000 (8,000)
3	仏教の自然観	渡辺 章悟	3	オンライン	6/24 ① 7/1 ① 7/8 ①	6/24 (6/17)	7,000 (6,000)
4	AI時代に拓かれる 仏教の智慧の力	下田 正弘	2	オンライン	7/13 ①②	7/13 (7/7)	5,000 (4,000)
5	アビダルマの“いし”	木村 紫	4	オンライン	7/25 ②③ 7/26 ②③	7/25 (7/21)	9,000 (8,000)
6	日本近世における修行道	蓑輪 顕量	4	対面併用	8/1 ②③ 8/2 ①②	8/1 (7/28)	9,000 (8,000)
7	『正法眼蔵』の思想	頼住 光子	2	対面併用	8/4 ②③	8/4 (7/28)	5,000 (4,000)
8	「お札」からみる日本仏教	加藤みち子	4	オンライン	8/21 ①② 8/22 ①②	8/21 (8/18)	9,000 (8,000)
9	仏教の可能性への探求 —真に日本的なあり方を 求めて	保坂 俊司	1	オンライン	9/5 ①	9/5 (9/1)	3,000 (2,000)
10	「原始仏教に学ぶ」	服部 育郎	4	オンライン	9/11 ②③ 9/17 ②③	9/11 (9/4)	9,000 (8,000)
11	「私の『法華経』観 —大乘仏教の心」	竹村 牧男	4	対面併用	10/7 ②③ 10/8 ①②	10/7 (9/30)	9,000 (8,000)

講義時間：①10:15～11:45 ②12:30～14:00 ③14:10～15:40

No	講義題目	講師名	回数	開催方法	日程・時間	開校日 (早割期限)	会員料金 (早割価格)
12	【誠の宗教と社会倫理定義 へのいざない】	釈 悟震	4	対面のみ	10/25 ②③ 10/26 ①②	10/25 (10/20)	9,000 (8,000)
13	親鸞入門 —最も大切な「信心」	田中ケネス	2	対面併用	11/7 ①②	11/7 (11/4)	5,000 (4,000)
14	インド・チベットにおける 瞑想と造形～密教的観想法 (サーダナの世界)～	佐久間留理子	3	オンライン	2027/3/7 ③ 2027/3/14 ③ 2027/3/21 ③	2027/ 3/7 (2027/ 3/2)	7,000 (6,000)

## 中村元記念館文化講座

No	講義題目	講師名	回数	開催方法	日程・時間	開校日 (早割期限)	会員料金 (早割価格)
15	初歩からはじめる仏像彫刻	石賀 善章	8	対面のみ	1回/月 第3火曜日 ①	4/21 (4/14)	13,800 (12,800)
16	日本の仏教を理解する 仏教概論入門	清水谷善圭	7	対面併用	1回/月 水曜日 ②	4/22 (4/15)	12,200 (11,200)
17	『カタ・ウパニシャッド』 「死神の秘教」の教えと 世阿弥の稽古論 ～伝統芸能修行法の 日印比較研究の試み	瀬古 康雄	6	対面のみ	1回/月 第2土曜日 ③	5/9 (5/7)	10,600 (9,600)
18	『唯信鈔』の思想	岡 宏	2	対面併用	7/18 ②③	7/18 (7/14)	4,200 (3,200)
19	全国の神楽と中国地方の神楽 —その多様性と共通性—	中野 秋鹿	2	対面併用	8/30 ②③	8/30 (8/25)	4,200 (3,200)
20	伝統芸道香道を学ぶ ～御家流古十組香の中から～	大谷香代子	2	対面のみ	10/15 ① 10/22 ①	10/15 (10/8)	4,200 (3,200)
21	「衛生」のルーツを探る —養生、健全学、 医制の文献から—	岡崎 秀紀	1	対面のみ	11/28 ②	11/28 (11/24)	2,600 (1,600)
22	『阿弥陀経』の思想	岡 宏	2	対面併用	12/12 ②③	12/12 (12/8)	4,200 (3,200)

## 1 『往生論註(浄土論註)』を読む

【全12回】 / 開催方法：対面のみ

さい とう しゅん けん  
齊 藤 舜 健

浄土宗総合研究所  
主任研究員



受講料	会員料金: ¥20,200	早割価格: ¥19,200(納入期限: 4月10日)
-----	---------------	----------------------------

【日程】【全12回】 第1・3・5 金曜日

(4/17、5/15、5/29、6/5、6/19、7/17、10/2、10/16、  
10/30、11/20、12/4、12/18)

【時間】 12:30~14:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

曇鸞『往生論註(浄土論註)』を読みます。本書は、浄土教の歴史において、易行道・難行道の二道説を立てて時と機に関して問題視し、『無量寿経』の阿弥陀仏の本願に着目して浄土往生の実践を確立した重要な著作です。中国においては道綽『安楽集』に重大な影響を与え、我が国では、源信『往生要集』、永観『往生拾因』、法然『選択集』、親鸞『教行信証』等に引用され、親鸞が自身の名に曇鸞から一字をとるほどに重要な意味をもちます。本年度は昨年度の継続で巻上の末尾から講読します。

### 【参考書】

①曇鸞・道綽(『浄土仏教の思想』四)

著者: 藤堂恭俊他 出版社: 講談社 出版年: 1995

②浄土論註(『仏典講座』二三)

著者: 早島鏡正他 出版社: 大蔵出版 出版年: 1987

## 2 現代インドの社会と文化

【全4回】／開催方法：対面併用

か とう たか ひろ  
**加藤 隆宏**

東京大学大学院  
人文社会系研究科教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000(納入期限：5月26日)

### 【日程・時間】【全4回】

5月30日(土) 12:30~14:00 / 14:10~15:40

5月31日(日) 10:15~11:45 / 12:30~14:00

### ■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

近年、さまざまな分野で存在感を増すインド。人口は14億人を突破して世界一、GDPでも英仏を抜いて世界5位に躍り出ました。本講座では、成長著しいインドの最新情報を取り入れながら、これからの日印関係について考えていきます。

前半2回でインドの今を概観し、後半2回では現代インドの社会課題について学びたいと思います。

- 第1回 現代インドの基礎知識
- 第2回 インドの文化と社会
- 第3回 インド社会の課題と展望（カースト制度など）
- 第4回 インド社会の課題と展望（新仏教など）

### 3 仏教の自然観

【全3回】／開催方法：オンライン

わた なべ しょう ご  
**渡辺章悟**

東洋大学名誉教授



受講料	会員料金：¥7,000	早割価格：¥6,000(納入期限：6月17日)
-----	-------------	-------------------------

**【日程】【全3回】**

6月24日(水) 10:15~11:45

7月1日(月) 10:15~11:45

7月8日(月) 10:15~11:45

**■受講に必要なもの**

[テキスト] レジューメ配布

・講座の目標

現在の世界は環境の悪化がひっ迫し、危機的な状況になっている。この私たちの取り巻く環境世界を、古代から現在に至るまでの人類の自然観を中心に考察しながら、現代の環境問題を見直し、仏教の自然観の特性と可能性について明らかにする。

・講座の内容

「自然」といってもその捉え方は時代や地域によって大きく異なる。とくに欧米の自然観は、キリスト教以前と以後、産業革命と近代化などによって、大転換がもたらされ、自然観の傾向も大きく変容し、現代の文明に決定的な影響を与えている。さらに、現在の環境問題もその流れの中にあることも指摘されている。

一方、東洋の自然観は、環境あるいは自然と人間が同質の傾向をもつが、現代社会ではそれが逆に大きな環境問題も抱えることになる。

本講座では最初に、東洋の思想や宗教に共通する自然（じねん）としての環境、モノを生み出す自然という観点から、東洋の伝統的自然観について考察する。その中心になるのは「仏教の自然観」である。実際の講義内容としては、初期仏教から大乘仏教、更には日本仏教に流れる自然観の特性を指摘し、仏教は自然をどのように捉えてきたのかについて分析する。さらに、その最後に東南アジアに見られる「樹木の出家式」を取り上げ、現代仏教の課題とその取り組みについて解説する。

・全三回の主題

1. 自然の比較哲学 —東と西の自然観—
2. 仏教の自然観 —初期仏教から東アジアの仏教まで—
3. 東南アジアの仏教にみる自然の保護と保全（樹木の出家式）

**【参考書】**

「仏教の自然観」（『仏教としあわせ』【武蔵野大学シリーズ16】）

著者：渡辺章悟 出版社：武蔵野大学出版会 出版年：2025

## 4 AI時代に拓かれる仏教の智慧の力

【全2回】／開催方法：オンライン

しも だ まさ ひろ  
下田正弘

武蔵野大学教授  
東京大学名誉教授



受講料 会員料金：¥5,000 早割価格：¥4,000(納入期限：7月7日)

【日程・時間】【全2回】

7月13日(月) 10:15~11:45/12:30~14:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジユメ配布

人類の知恵は、自然科学、社会科学、人文(科)学に分類される学問として発展してきました。そのなかで、自然科学は人体もふくむ物質世界に考察の光をあて、自然を改造し、再構築する知恵を生みだしてきました。この知恵を現実世界に役立てるためには、高度な技術の開発と、社会や国家単位でその営為を推進するシステムが必要となります。その役割を担ってきたのが、工学や社会科学でした。これらの科学は、近代以降、研究と教育の拠点を大学に置き、人間の便宜を自然界から引きだす大きな力を発揮してきました。

ところが、こうした眼前の現実の改造が、長期的に人類の幸福に資するの否かは、ほとんどの場合に当の学問の研究主題ではありません。科学技術の力と国家社会によるその推進が、戦争による大量殺戮や産業化の進行による地球環境の破壊に作用してしまうことは、まさに現代の切迫した課題であります。未来の世代もふくむ真の意味の幸福がいかにも実現されるかという課題は、これらの科学の営為とは並行して、独自に追究されなければなりません。

いま、さらに新しい問題が生まれてきました。これら研究の遂行に人工知能(AI)が絶大な力を発揮しはじめたことです。ことに生成AIは、あたかも自身を自力で改良してゆくように見える発展段階に達し、やがて人間の営為全体を凌駕し現実を自動的に改造してしまうのではないかという危惧を与えています。この問題の内実を見さだめ、進むべき方向を明らかにすることは、諸科学の成果に依存する現代の枢要なテーマです。

じつは、ここにこそ、仏教の智慧がはたらきを発揮します。本講義では、「ものごと、こころ、ことば」によって尽くされる、人知のもつ力と限界を照らし、すでにその先を開いている、仏教の智慧を見てみたいと思います。

## 5 アビダルマの“いし”

【全4回】／開催方法：オンライン

きむら ゆかり  
木村 紫

立正大学非常勤講師



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000(納入期限：7月21日)

### 【日程・時間】【全4回】

7月25日(土) 12:30~14:00 / 14:10~15:40

7月26日(日) 12:30~14:00 / 14:10~15:40

### ■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

有部アビダルマで論じられている、“い”か“し”で始まる言葉を四つ集めてみたら、五位七十五法の五位のうちの有為法の四つになりました。残念ながら“い”からも“し”からも始まらなかったあと一つは、無為法です。この四つの有為法は、私たちを構成する色蘊・受蘊・想蘊・行蘊・識蘊という五蘊にもなります。“い”か“し”で始まるこれらの四つについて、ヴァスバンドゥ（世親）が書いた『阿毘達磨俱舍論』の記述をもとにお話していきます。また、その四つ以外の無為法にも少し触れたいと思います。

1. 色 普通「いろ」と読みますが、呉音読みでは「しき」と読みます。広い意味ではあらゆる物質的なものを指し、狭い意味では、眼で認識されるものを指します。
2. 意・識・心 「い」「しき」「しん（こころ）」というこの三つは同じものであると説かれていますが、ヴァスバンドゥはそれぞれの呼び名に語源解釈を提示しています。
3. 心所（心作用） 心のあとは、心の作用である「しんじょ」についてです。受も想も心作用ですが、その他の煩惱も含めた心作用はすべて行蘊になります。
4. 心不相応行 「しんぷそうおうぎょう」、何のことやら想像もつかないと思います。有部アビダルマは、物質的なものと心と心作用だけで私たちが構成されているのではなく、この心不相応行と呼ばれるものも存在として認め、行蘊の一部として論じています。さて、どういうものでしょうか。

### 【参考書】

存在の分析〈アビダルマ〉—仏教の思想2

著者：上山春平・櫻部建 出版社：角川書店 出版年：1996

## 6 日本近世における修行道

【全4回】／開催方法：対面併用

みの わ けん りょう  
**袁 輪 顕 量**

立正大学仏教学部  
仏教学科教授  
立正大学法華経文化研究  
所長  
東京大学名誉教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000(納入期限：7月28日)

### 【日程・時間】【全4回】

8月1日(土) 12:30~14:00 / 14:10~15:40

8月2日(日) 10:15~11:45 / 12:30~14:00

### ■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

日本仏教における修行について追いかけてきているが、令和八年度は近世江戸時代に活躍した人物に焦点を当てたい。修行というと、滝行や山の中を歩く行を思い浮かべる人が多いと思う。しかし、ここで述べる行とは、私達の身心をみつめる止観行を指す。初期仏教においては念処と表現されたものが止観ということばで代わりに表現されるようになり、やがて大乘仏教にも踏襲されていた。釈尊によって見いだされた身心の観察法が何を目的とし、どのように変化し、日本に伝播してから、どのように受用されたかという視点から講義をする。

とくに近世江戸時代の仏教は、現在の仏教に繋がる部分を多く持っているので、十分に吟味してみたい。

第1講 至道無難

第2講 白隠慧鶴 (1)

第3講 白隠慧鶴 (2)

第4講 深草元政

### 【参考書】

①『仏教瞑想論』

著者：袁輪顕量 出版社：春秋社 出版年：2008

②『日本仏教史』

著者：袁輪顕量 出版社：春秋社 出版年：2015

## 7 『正法眼蔵』の思想

【全2回】／開催方法：対面併用

より ずみ みつ こ  
**頼住光子**

駒澤大学仏教学部教授  
東京大学名誉教授



受講料 会員料金：¥5,000 早割価格：¥4,000(納入期限：7月28日)

【日程・時間】【全2回】

8月4日(火) 12:30~14:00/14:10~15:40

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

近年、世界的に禅への関心が高まっています。その背景には、先行きの見えない現代社会において、人々が不安や閉塞感を抱え、心の拠り所を求めているという状況があります。経済的効率や利益の最大化を最優先とする価値観に対する疑問が広がる中で、そうした価値観を相対化し、別の生のあり方を示す思想として、禅は重要な示唆を与えています。

禅は、約二五〇〇年前の釈尊の開悟成道を根源的出来事（原事実）とし、釈尊から摩訶迦葉へと伝えられた法の継承を自らの起源としてきました。インドから中国へと受け継がれたとされるこの系譜は、日本においては鎌倉時代の禅僧・道元によって独自の展開を遂げつつ受け継がれます。道元は、自らの教えがこの仏教の原点に直接連なっていることを強く意識し、その立場から独自の思想を展開しました。

道元の思想の特徴は、仏教の根本に立ち返りつつ、それを徹底して実践し、言葉として表現した点にあります。その思想の集大成が『正法眼蔵』であり、「日本思想史上、最高の哲学書」と評価されています。しかし同時に、『正法眼蔵』はきわめて難解な書としても知られています。その難しさは、私たちが日常的に前提としている主観と客観を分ける主客二元論や、事物を要素に分けて理解する要素還元主義的な思考枠組と、道元の世界理解との間に大きな隔たりがあることに由来します。

道元は『正法眼蔵』において、思想をわかりやすく説明するのではなく、語りのあり方そのものを通して、読者が自明視してきた理解の枠組みを揺さぶり、相対化しようとしています。そのため、一読して理解することは容易ではありませんが、論理の展開を丁寧に追い、表現を一つ一つ読み解いていくことで、道元の示そうとした世界像に徐々に近づくことが可能になります。

本講座では、『正法眼蔵』を手がかりに、道元が何を問い、どのような世界の見方を提示しようとしたのかを、できる限り分かりやすく検討します。道元の思想に触れることを通して、私たち自身が無意識のうちに依拠している価値観や思考の枠組みを問い直す契機とすることを目指します。

### 【参考書】

『正法眼蔵入門』

著者：頼住光子 出版社：角川ソフィア文庫 出版年：2014

## 8 「お札」からみる日本仏教

【全4回】／開催方法：オンライン

かとう  
**加藤みち子**

武蔵野大学  
仏教文化研究所特任教授  
中村元東方研究所  
主任研究員



受講料	会員料金：¥9,000	早割価格：¥8,000(納入期限：8月18日)
-----	-------------	-------------------------

### 【日程・時間】【全4回】

8月21日(金) 10:15~11:45 / 12:30~14:00

8月22日(土) 10:15~11:45 / 12:30~14:00

### ■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

「お札」というのは、日本仏教の中に根付いており日本人の生活文化の中に息づいているものです。しかし、仏教ではどのように位置づけられているのか、ということはあまり知られていないように思われます。そこで本講座では、日本仏教各宗派で用いられる具体的なお札を見ていながら、歴史的背景や思想的根拠も踏まえて、日本仏教との関わりを紐解いていきたいと思えます。

#### 1 時限目 「お札」とは何か？—その役割と歴史

「お札」とはそもそも何なのか。その役割や、成立事情について、概要を解説します。

#### 2 時限目 神社の「お札」とお寺の「お札」

同じお札でも、神社の「お札」とお寺の「お札」は何が違うのか。はたまた、修験道のお札とは何が違うのか。具体的なお札を見ながら、その意味を考察します。

#### 3 時限目 「お札」と勧進聖（かんじんひじり）

「お札」はどのように、広まったのか。その媒介者である「勧進聖」について紹介しながら、お札の流布とその意味を考えていきます。

#### 4 時限目 江戸時代から現代へ：お札の流布と庶民信仰の諸相

庶民信仰が全国的に日本社会に定着した江戸時代から、お札がどのように流布し、また変容・発展していくのか、現代につながる「お札」の展開を見ていきます。

#### 【参考書籍】

- ・千々和到著『日本の護符文化』弘文堂、2010年
- ・ベルナール・フランク著『「お札」に見る日本仏教』藤原書店、2006年

## 9 仏教の可能性への探求 —真に日本的なあり方を求めて

【全1回】／開催方法：オンライン

ほ さか しゅん じ  
保坂 俊司

中央大学大学院教授  
比較文明学会会長



受講料	会員料金：¥3,000	早割価格：¥2,000(納入期限：9月1日)
-----	-------------	------------------------

【日程・時間】【全1回】

9月5日(土) 10:15~11:45

■受講に必要なもの

[テキスト] レジユメ配布

近代西洋文明への過度な依存から、唯物論的科学主義への依存が過剰に重視される現在の日本社会では、仏教の存在意義は急激に低減しているように思われます。

例えば、近代型の経済の発展は、数値で測りえる範囲での議論であり、また富の格差も格段の格差を齎し、果たして人間の幸福（満足）の重要な要素である心領域への配慮は、十分とは言えません。また、また昨今の国際情勢を鑑みるとき力というより暴力の暴走が、さらなる不和を生む負のスパイラルに陥っており、このままでは、世界はかつて経験した戦争の時代という奈落の底に落ち込みかねません。このような対立・分断や紛争の顕在化にブレーキを掛けられる思想はないのでしょうか？今回は、ある種の理想論かもしれませんが、仏教思想の中に、近代文明の負の側面を補う融和、共生の思想を見出しえるのではないかと、ということで、仏教思想が現実の社会にいかにかき入れられるか、という点を具体例を挙げて検討してみます。その一つは、サンフランシスコ講和会議におけるジャヤワルダナ師の演説とその意味です。さらには、仏教の利他主義的な発想を生かした日本の経済・経営思想の紹介です。

## 10 「原始仏教に学ぶ」

【全4回】／開催方法：オンライン

はっ とり いく ろう  
**服部 育郎**

中村元東方研究所  
専任研究員  
愛知学院大学講師  
東方学院講師



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000(納入期限：9月4日)

### 【日程・時間】【全4回】

9月11日(金) 12:30~14:00 / 14:10~15:40

9月17日(木) 12:30~14:00 / 14:10~15:40

### ■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

原始仏教とは仏教成立当時の初期の仏教をいう。やや具体的に言うなら、ゴータマ・ブッダが亡くなった後100年位まで、一つであった教団が二つに分裂するまでの仏教で、ブッダと弟子と孫弟子の頃までとも大まかに言えるだろう。

ゴータマ・ブッダは苦しみの克服を目指して、道を発見し実践した。そして同じように苦しむ人にその道を説いたのである。つまり、その道のみずから歩み追体験をするようにと教えるのである。

仏教成立当時であっても、現代であっても、人間の「四苦八苦」は同じように降りかかる。であるから、それを乗り越える道を説いたブッダの教えは、時代を超えて現代の私たちにも適応できるアドバイスとなるに違いない。今回の講座ではこうした観点から、原始仏典を資料に、テーマを設けて学んでみたい。

- 1、原始仏教の基本的立場。まず、原始仏教とは何か、また、その時代の仏教を知る資料（原始仏典）として何があるかを概説する。そして「ブッダ」という語が意味するところについて考える。
- 2、仏教の基本的な教え、苦しみと無常について。後には教えとして体系化して説かれることになるが、初期の仏典ではそれらが素朴なかたちで説かれている。原始仏典ではどのように説かれていたのかを、実際の経典の文句を読みながら学びたい。
- 3、原始仏典を資料に「自己の探求」と「無我（非我）の教え」について考える。これらは相互に矛盾するかのようであるが、この教えが実際にはどのように説かれていたのか、その意義は何であるかを考える。
- 4、欲望と煩惱について。苦しみの原因とされる欲望や煩惱について。人間は欲望をなくすことはできない。欲望があるから生きていけるという面もあるだろう。しかし、欲望は暴走しやすい。そうすると煩惱（煩わし悩ます心のはたらき）になる。その対処の仕方はどのように説かれているのだろうか。原始仏典の教えからこうした点を考えてみたい。

### 【参考書】

#### ①『ブッダ入門』

著者：中村元 出版社：春秋社 出版年：1991

#### ②『原始仏教の思想』 I、II（中村元選集 [決定版] 15,16）

著者：中村元 出版社：春秋社 出版年：1993

## 11 「私の『法華経』観 —大乘仏教の心」

【全4回】／開催方法：対面併用

たけむら まきお  
**竹村 牧男**

東方学院講師  
筑波大学名誉教授  
東洋大学名誉教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000(納入期限：9月30日)

### 【日程・時間】【全4回】

10月7日(水) 12:30~14:00 / 14:10~15:40

10月8日(木) 10:15~11:45 / 12:30~14:00

### ■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

大乘仏教の代表的な経典の一つに、『法華経』がある。日本では、聖徳太子の『法華義疏』および最澄の天台宗以降、多くの国民に親しまれている。特に天台宗、法華宗(日蓮宗)は、『法華経』の思想を深く解明し、それを民衆に広めてきた。その哲学的立場は、きわめて高度なものである。

ただ天台教学は、龍樹の『中論』の思想も導入したもので、必ずしも『法華経』そのもののみから構成されたものでもないようである。では、そもそも『法華経』自身には、どういうことが説かれているのであろうか。

そこで今回は、『法華経』の思想を、『法華経』自身に沿って、もう一度、私なりに読み解くことに取り組みたいと思う。

4回の講義の中、第1回は、『法華経』の一乗思想の内容を点検する。そこに仏の熱い大悲の心を見出すことになろう。

第2回は、一乗思想の根底にあるべき如来蔵思想が、『法華経』にはどのように現われているのかを点検する。「一切衆生悉有仏性」を説く『涅槃経』と『法華経』とは、どこかで通底しているはずである。

第3回は、仏出世の一大事因縁として、仏知見の開・示・悟・入が説かれるが、その仏知見とは、具体的にどのようなものなのかを探究する。

第4回は、『法華経』において、菩薩道としての修行はどのように説かれているのかを辿り、『法華経』を奉じる者の生き方について考える。その一つの眼目は、忍辱行にあると思われる。

以上は『法華経』のいわば初歩的な理解にとどまるものであるが、その中でも、大乘仏教の崇高な理念を再確認することになるであろう。

### 【参考書】

はじめての大乘仏教

著者：竹村牧男 出版社：講談社現代新書 出版年：2025

## 12 【誠の宗教と社会倫理定義へのいざない】

【全4回】／開催方法：対面のみ

しゃく  
**釈**      ご      しん  
**悟**      震

公益財団法人  
中村元東方研究所  
常務理事  
中村元記念館  
東洋思想文化研究所  
副所長  
文学博士  
スリランカ国立ペラデニヤ大学  
客員研究員



受講料	会員料金：¥9,000	早割価格：¥8,000(納入期限：10月20日)
-----	-------------	--------------------------

### 【日程・時間】【全4回】

10月25日(日) 12:30~14:00 / 14:10~15:40

10月26日(月) 10:15~11:45 / 12:30~14:00

### ■受講に必要なもの

[テキスト] ※講師が準備します

『宗教と社会倫理—古代宗教の社会理想』

著者：中村元著 出版社：岩波書店 出版年：1959

〈宗教はどのような社会理想を目指していたのか〉といういざないを、不動の根本仏教のみなもとを育む古代インドの思想により今によみがえさせる講義として昇華できることを大いに期待をいたしております。

日本において「宗教」という言葉は、社会的な事件が起きたときに否定的に取り上げられがちです。しかし、そもそも宗教には人々の幸福を願う理想があったに違いないと思います。そして今日の日本でも、政教分離の原則はあれども、宗教と社会・生活は密接な関係にあります。

宗教と政治／国家／経済／社会政策の関係や、インド宗教の根幹ともいべきヒンドゥー教や原始仏教が古代インド人の社会理想にどのように関わっていたかを含め、国家および民衆支配の真のリーダーは国家ないし社会においてどのような社会理想に従ったのか。あるいは仏教徒および釈尊は指導者層に如何なる態度で接し、どのような教えを説示したのか。あるいはインド中世では帝王を神聖な権威的存在とした今につながる思想があったのかどうか。「神々に愛され、敬虔な社会理想性に卓越した指導者」と呼称されるいざないを中村元博士がまとめあげた「不朽の名著」から紐解きたいと思います。

本年は先年につづき、インド中世では帝王を神聖な権威的存在とした思想はあったのか、なかったを「問題の由来」「バラモン教徒国家意識」「仏教徒の下した批判」の思想から導き出す誠の宗教と社会倫理の定義の中村元博士以外、どなたにも触れることが出来なかった真髓へのいざないを本講義ならであるからこそ実体験できるだろうと思います。

今年度はテキスト「第6章 帝王の権威と宗教」(286-336ページ)を使用します。テキストをお持ちでない方には講師が準備した資料を配布します。

## 13 親鸞入門 —最も大切な「信心」

【全2回】／開催方法：対面併用

た なか  
田中ケネス

武蔵野大学名誉教授



受講料	会員料金：¥5,000	早割価格：¥4,000(納入期限：11月4日)
-----	-------------	-------------------------

【日程・時間】【全2回】

11月7日(土) 10:15~11:45 / 12:30~14:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

親鸞の生き方と教えは、世界の宗教家の中でも稀であるとよく言われます。プロテスタント運動を興したマーチン・ルーターとも比較される場合がよくありますが、異なる特徴もかなりあります。その違いこそ、親鸞が今でも多くの人々を魅了している理由となっています。

親鸞の教えは、出家して修行を重ねる僧侶・尼僧でなくても、普通の社会・家庭生活を営む人たちが、生きる中でいろいろな困難に向き合い、人間として生まれて来た意味と喜びを味わえるように導いてくれます。

本講座では、親鸞の最も重要な教えである「信心」に焦点を当て、伝統的な説明ではあまり見られない下記のような点を扱います。

- 信心とは、単なる「まかせる心」で「智慧」の側面はないのか？
- 信心を頂いたら、どのような自覚があるのか？
- 信心は、大乘仏教のどの悟りの段階に相当するのか？
- 信心においてどの障りが解消されるのか？

本講座では、親鸞の信心に焦点を当てることで、仏教が私たち現代人に、身近で新鮮な気づきや生きる力を与えてくれることが期待できます。

# 14 インド・チベットにおける瞑想と造形 ～密教的観想法（サーダナの世界）～

【全3回】／開催方法：オンライン

さくまるりこ  
**佐久間留理子**

大阪観光大学教授  
公益財団法人  
中村元東方研究所理事



受講料	会員料金：¥7,000	早割価格：¥6,000(納入期限：2027年3月2日)
-----	-------------	-----------------------------

## 【日程・時間】【全3回】

2027年3月7日(日) 14:10～15:40

2027年3月14日(日) 14:10～15:40

2027年3月21日(日) 14:10～15:40

## ■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

インドにおいて密教的観想法（サーダナ）がどのように成立し、また、それがどのようにチベットにおいて受容され展開したのかを概観する。文献資料のみならず、関連する画像資料も提示する。

第一回 密教的観想法の成立背景として、インドにおける世界観、供養法、瞑想法、仏教パントオン（仏教諸尊の組織体）について概観する。

第二回 インドにおいて12世紀頃までに個別に成立した密教的観想法の集成に『サーダナ・マラー』(成就法曼)がある。バッタチャルヤ校訂本によれば、この集成には、仏、菩薩、女神、忿怒尊などの312の密教的観想法や儀軌などが含まれている。これらの中、仏・菩薩の密教的観想法を中心に上げる。

第三回 チベット大蔵経やチベットの蔵外經典に収録された密教的観想法について、インドのものと比較する。それによって、インドの密教的観想法の伝統が、チベット仏教においてどのように受容されたのかについて解説する。

## 【参考文献】

### ①観音菩薩

著者：佐久間留理子 出版社：春秋社 出版年：2015

### ②マンダラ観想と密教思想

著者：立川武蔵 出版社：春秋社 出版年：2015

# 中村元記念館文化講座 講義案内 (年会費不要、受講料のみ必要)

現代社会のなかでどのように生きていくのか、東洋の文化に改めて向き合ってみませんか。受講料のみで参加できます。お気軽にご参加ください。

## 15 初歩からはじめる仏像彫刻

【全8回】 / 開催方法：対面のみ

いし が よし あき  
石 賀 善 章

鳥取県文化財保護指導員  
倉吉市文化財協会理事  
倉吉市美術展無鑑査



受講料 一般料金：¥13,800 早割価格：¥12,800(納入期限：4月14日)

【日程】【全8回】 1回/月 第3火曜日  
(4/21、5/19、6/16、7/21、9/15、10/20、11/17、12/15)

【時間】 10:15~11:45

■受講に必要なもの

[テキスト] 書店等でお求めください。

『仏像彫刻のすすめ』

著者：松久朋琳

出版社：日貿出版社

出版年：2016

〈必要な持ち物〉彫刻刀8本程度(一本あたり1,500円程度)、筆記用具

日本における仏像彫刻技法は平安時代の仏師、定朝によって確立されました。以来、その伝統は時々の時代に翻弄されつつも現在に受け継がれています。当講座では仏像彫刻の魅力を紹介しながら実際に彫刻していただき、刀物の使い方の基礎である地紋彫りから、救世観音像及び聖観音像の造像まで学んで頂きます。

基本的にはご自宅での作業となりますが、各回それぞれ皆様の題材に合わせてアドバイス及び添削させていただきます。

必要用具としては彫刻刀(セット品に買い足しても可)、筆記用具。

用材の桧材は課題に合わせて販売いたします(檜材300円~2000円程度)。

またテキストは毎回配布いたしますが、引き続き受講される方、より深く仏像彫刻を学ばれる方は、下記の参考書をご用意されると良いでしょう。

その他、引き続き受講される方、経験者の方には別途、課題の図面や用材を用意させていただきます。基礎から学び安全に、長い歴史と信仰に育まれた仏像彫刻の魅力を自ら体験しつつ、世界にふたつとない御自身の祈りのかたちを具現化して頂ければ幸いです。



### 【参考書】

『続・仏像彫刻のすすめ』

著者：松久朋琳、松久宗琳 出版社：日貿出版社 出版年：2007

## 16 日本の仏教を理解する 仏教概論入門

【全7回】／開催方法：対面併用

しみず たに ぜん けい  
**清水谷善圭**

安来清水寺長膺  
天台宗中央布教師養成所  
副所長



受講料 一般料金：¥12,200 早割価格：¥11,200(納入期限：4月15日)

【日程】【全7回】1回/月 水曜日  
(4/22、5/27、6/10、7/22、10/28、11/25、12/9)

【時間】12:30~14:00

### ■その他

【テキスト】 ※初回到配布

仏教聖典

出版社：公益財団法人 仏教伝道協会

出版年：2017

仏教は難解だと誤解している方が未だ沢山おられます。講師法臆60年の仏教理解を軸として、仏教の歴史、覚りを目指したゴータマ・シッダールタ(釈迦)の動機と目的、娑婆世界(私達が暮らす世界)の認識(四諦八正道)、初期仏教の教え、大乘仏教(空と般若心経)・密教(神仏習合)の起こりから中国・韓国・日本への伝搬、教えの変化を確認し、釈迦は何を説き、何を訴えようとしたのかを仏教伝道協会発行の「仏教聖典」をテキストとして学んでいきます。またそれらの学びを通して、日本の仏教宗派の違い(奈良時代の仏教宗派と平安以降の仏教宗派の違いを中心に)を理解し、今後の葬儀・先祖供養(家中心の葬儀。先祖供養から、個人中心の葬儀・先祖供養への変化を受けて)のあり方を共に考えていきたいと思えます。また、講義の中で修行(坐禅、念仏・題目、回峰行、写経、経典読誦等)の考え方、目標、方法等にも触れていきたいと思えます。中村元博士が到達された「慈しみの心」へ私たちがどのようにすれば到達できるのか、私達は日々どのように生活すれば「慈しみの心」を涵養できるのかを講義を通して考えていきたいと思っています。何方にも理解いただける事を目標に講義を進めていきますので、日本人の心の根底に流れる仏教理解に貴方の時間を割いて下さい。

令和8年度は令和7年度の続き、仏教聖典113ページ「六、この仏の心は、大いなる慈悲と知恵その者であるから、どんな人をも救う」から始めます。

初めの方も安心して学んで頂けますので、是非受講下さい。お待ち申し上げます。

# 17 『カタ・ウパニシャッド』「死神の秘教」の教えと世阿弥の稽古論 ～伝統芸能修行法の日印比較研究の試み

【全6回】／開催方法：対面のみ

せ こ やす お  
瀬 古 康 雄

シタール奏者  
しまねガムラン主宰



受講料	一般料金：¥10,600	早割価格：¥9,600(納入期限：5月7日)
-----	--------------	------------------------

【日程】【全6回】1回/月 第2土曜日  
(5/9、6/13、7/11、9/12、10/10、11/14)

【時間】14:10～15:40

■受講に必要なもの

[テキスト] レジユメ配布

古代インドの初期ウパニシャッドには「梵我一如」というインドの宗教思想の根幹が説かれているが、この教えは人々にとっては実に神秘的なトランスの悟りであった。ところが、BC5～4C.になるとブッダ（釈尊）の中道・禅定やマハーヴィーラ（ジャイナ教の開祖）の苦行などシュラマナ（沙門）の様々な修行法が現れ、超人的なトランスの悟りから万人のための「修行の道」へという大きな変化が生まれた。そして、仏教興隆後の中期ウパニシャッドである『カタ・ウパニシャッド』の「死神の秘教」（BC350～300）には、後のヴェーダーンタ哲学やヒンドゥー教の基礎となる修行論が最も簡潔に記されるようになる。「死神の秘教」は死者の国へと赴いたナチケートスという名の若者が、死神Yamaから生と死についての秘教を授けられる物語で、仏教やヨーガの修行法を取り入れて師資相承の修行の奥義を説いたものである。

叡智ある者は、①ことばと②思考力を抑制すべきである。それを③知識としてのアートマンのなかに抑制すべきである。知識を④大きいものとしてのアートマンのなかに抑制すべきであり、それを⑤平安なアートマンのなかに抑制すべきである。『カタ・ウパニシャッド』（3-13）

不思議なことに上記の5段階の修行は世阿弥が『風姿花伝』や『花鏡』で説いている五智（舞の稽古の手順）と非常によく似ている。おそらく世阿弥が仏教の教えを取り入れたためであろうが、表演芸術の修行法が確立された時代のものとして日印共通の段階的な表現になっているものと思われる。

「無心の位にて、我が心をわれにも隠す案心にて、せぬ隙の前後をつなぐべし。これすなはち、万能を一心にてつなぐ感力なり。」

- ① 手智（手足を動かす基本）
- ② 舞智（立ち姿の型を究める）
- ③ 相曲智（音曲の懸かりで舞う）
- ④ 手体風智（一曲中に風情を込める有文風）
- ⑤ 舞体風智（無心の心で舞う無文風、無姿）

『花鏡』 舞声為根

この講座では上記のような伝統芸能修行法の日印の比較研究が主題であるが、私自身は長年、シタールの練習と演奏を手掛けているので、シタールの演奏を通して五つのステップを体験的に表現し、それぞれのステップでの演奏テクニックと音色の変化を確認したい。

また、かつては能舞台を何年もの間にわたって見てきたので、能の稽古や舞台のビデオを紹介しながら世阿弥の五智（舞の稽古の手順）についても、五つのステップを取り上げ、出来ればバラタナティヤムなどのインド古典舞踊の基本的な所作と比較し、両者の同一性と差異を明らかにしてみたいと思う。

## 18 『唯信鈔』の思想

【全2回】／開催方法：対面併用

おか  
**岡**

ひろし  
**宏**



近畿大学生物理工学部  
講師  
中村元記念館  
東洋思想文化研究所  
研究員

受講料 会員料金：¥4,200 早割価格：¥3,200(納入期限：7月14日)

【日程・時間】【全2回】

7月18日(土) 12:30~14:00 / 14:10~15:40

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

『唯信鈔』(1221年(承久3年)撰述)の著者・安居院法印聖覚は、隆寛律師とともに法然上人から篤い信任を得ていたと思われています。本書は、表題が示すように法然上人より相承する念仏往生の要諦に関し、簡潔明快に「ただ信心が専修念仏の肝要」という本願他力による念仏往生の真意を解説した書物と言われます。

この『唯信鈔』の特徴は大きく前・後2点に分けることができます。

前半は易行の強調、すなわち、阿弥陀仏の救いを信じ「南無阿弥陀仏」と称えるだけで救われるという浄土教の真髄を説き、後半は信心の重要性、すなわち、表題の通り、「ただ信じる=唯信」ことの重要性を説いています。

少し詳しく述べれば、前半では、仏道に聖道門と浄土門の二門を分ち、浄土門に諸行往生と念仏往生を挙げ、念仏往生について専修と雑修を示し、阿弥陀仏の本願を信じ、ただ念仏一行をつとめる三心具足の専修の意味を明らかにしています。つまり、専修念仏で信心を肝要とする阿弥陀仏の本願(第18願)は、自力を捨てて他力に帰することが肝要であるということを説かれています。

後半では、①臨終の念仏と尋常の念仏、②弥陀の願力と先世の罪業、③五逆と宿善、④一念と多念の4項目について当時の疑問・議論を挙げ、それぞれの課題について明快に、ただ信心を根本とする立場を示されています。このように本書は、浄土教の要点をまとめたものとして高く評価されています。

『唯信鈔』の所説の思想について、

- ①聖道門と浄土門
- ②諸行往生と念仏往生
- ③専修と雑修
- ④三心具足の専修の意味
- ⑤臨終念仏と尋常念仏
- ⑥弥陀願力と先世罪業
- ⑦五逆と宿善
- ⑧一念と多念

の8点に分って考えます。

お気軽に聴講ください。

## 19 全国の神楽と中国地方の神楽 —その多様性と共通性—

【全2回】／開催方法：対面併用

なか の あい か  
**中野 秋鹿**

中村元記念館  
東洋思想文化研究所  
研究員



受講料	一般料金：¥4,200	早割価格：¥3,200(納入期限：8月25日)
-----	-------------	-------------------------

【日程・時間】【全2回】

8月30日(日) 12:30~14:00/14:10~15:40

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

神楽の語源は、神が坐す場所「<sup>いま</sup>神坐<sup>かみくら</sup>」が縮まったものという説が有力です。「神楽」という言葉を厳密に定義するのは難しいですが、神坐に神々を招き、歌舞音曲を捧げる儀式であり芸能であると言えます。

宮中で行われた「<sup>みかぐら</sup>御神楽」に対し、神社などで行われる民間の神楽は「里神楽」と呼ばれます。里神楽は全国各地に分布しており、その広域性と多様性は驚くべきものです。

神社で巫女が鈴などを採って舞う巫女舞、放下芸（曲芸）と獅子舞を組み合わせた伊勢大神楽から派生した全国各地の獅子舞、東北の山伏神楽などにみられる<sup>ごんげんさま</sup>権現様と呼ばれる獅子頭を用いた権現舞、南信の霜月神楽や奥三河の花祭りなど湯立を中心とする神楽、そしてこれまで本講座で紹介してきた<sup>とりもの</sup>素面の採物舞と着面の神楽能、舞を伴わない奏楽や祭文読誦のみの神楽まで、実に様々な里神楽が、全国の何千もの団体や個人によって今も伝承されているのです。

しかし、それら多様な里神楽の一つ一つを見ていくと、遠く離れた地域の神楽同士であっても、色々な共通する要素があることが見えてきます。

今回の講座はこれまでより視野を広げて、全国各地の里神楽の特色と共通性について、中国地方の神楽との比較の観点も交えて解説します。

実際に神楽を見に行きたい！という方に向けた神楽情報もご提供しますので、講座を受けられたあとは、ぜひ全国各地の神楽へ足を運んでみてください。

## 20 伝統芸道香道を学ぶ ～御家流古十組香の中から～

【全2回】／開催方法：対面のみ

おおたにかよこ  
**大谷香代子**

(公財)お香の会理事  
出雲文化伝承館特別顧問  
香道御家流和草会主宰



受講料	一般料金: ¥4,200	早割価格: ¥3,200(納入期限:10月8日)
-----	--------------	--------------------------

【日程・時間】【全2回】

10月15日(木) 10:15～11:45

10月22日(木) 10:15～11:45

■受講に必要なもの

[テキスト] レジユメ配布

材料代(香木炭団和紙など) 1,000円(各回毎)

4年間にわたり源氏物語の各帖についての組香を学び、源氏物語54帖が終了いたしました。本年は、御家流香道の原初的組香「御家流三十組 古十組香」の中より組香を学んでまいります。組香を学ぶことは、六国(香木の種類)の香りを学びつつ、古典文学に親しみ、日本文化に分け入り覗き見ることと考えます。

ぜひ体験をなさってみてはいかがでしょうか。

2回だけの講座となります。

第1回 古十組香(ことくみこう)の中より

**宇治山香**を体験します。

香道の歴史・六国(香木の種類)・香道具の説明・香の聞方・作法・手記録紙の書き方・重硯の使い方も学びます。

第2回 古十組香の中

**十炷香**を体験します。

数ある組香の中で、最もピュアーで基本の組香を学びます。



## 21 「衛生」のルーツを探る —養生、健全学、医制の文献から—

【全1回】／開催方法：対面のみ

おか ぎき ひで き  
**岡崎 秀紀**

学芸員  
松江バルトン会幹事



受講料 一般料金：¥2,600 早割価格：¥1,600(納入期限：11月24日)

【日程・時間】【全1回】

11月28日(土) 12:30~14:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジユメ配布

2025年度講座では、衛生思想の普及と実現に貢献した4人の先人、A.ローレツ、田野俊貞、後藤新平、W.K.バルトンを取り上げました。衛生の言葉は、岩倉使節団(1871~73)に参加した、初代衛生局長の長与専齋が欧州で見出した、「Hygiene」が源であるとして知られています。しかし、長与以前に、この方面での欧州の進んだ考えや実践を知って、翻訳書を出版する、医制で衛生の言葉を用いる、などの先人がいました。

近代国家へのスタートは、衛生から始まったとも言われます。講座では、日本古来の養生の考え方も関連する、「衛生」の言葉のルーツを探ることで、明治の衛生思想や医制の発展の歴史を学習します。それは、国民の健康増進、人々の幸福を確保するという近代化への過程でした。

### 概要

#### 1. 養生とは —仏教と共通点も—

養生とは／養生の歴史／養生と仏教／貝原益軒『養生訓』(1712)

#### 2. 健全学とは —個人から社会の衛生への萌芽—

1) Robert James Mann (1817-1886) 著 『The Book of Health』(1854)。英国医師。

2) J. L. de Bruijn Kops著 『Eenvoudige Gezondheidsleer』(1856)。Mann著を蘭語に翻訳。

※「Eenvoudige」(簡単)、「Gezondheids」(無病健全)、「leer」(教える)の意。

3) Kops著・杉田玄端訳『健全学』(1863、文久3) Kops著を日本語に翻訳。

※参考：「健全学提要」『衛生通報第14・15号』島根県衛生課(1885)

#### 3. 医制と衛生 —公衆衛生のはじまり—

【医制】 1874年に制定された衛生制度(医師・医学校・薬舗など)を定めた規定

【衛生】 健康の保全・増進をはかり、疾病の予防・治療につとめること。(広辞苑)

独語Hygiene(ヒギーネ) = 生を衛る(せいをまもる)。『荘子』より採った。

1) 松本良順(1832-1907)

長崎でポンペに学ぶ。初代陸軍軍医総監。『養生法(上下)』(1864)

2) 相良知安(1836-1906)

蘭医。文部省医務局長・第一大学区医学校校長。医制を立案。

3) 長与専齋(1839-1902)

岩倉使節団欧州視察(医療制度など)。初代衛生局長／Hygiene(衛生)。

### まとめ

○松江と関わる人物(松本良順、長与専齋) ○文献探索

### 【参考書】

1) Robert James Mann著 『The Book of Health』(1854)

2) J. L. de Bruijn Kops著 『Eenvoudige Gezondheidsleer』(1856)

3) Kops著・杉田玄端訳『健全学』(1863・文久3) ※島根大学附属図書館蔵(1867年版)

4) 吉村昭『日本医家伝』講談社(1917) ※中公文庫版(2023)

5) 『松本良順自伝・長与専齋自伝』平凡社東洋文庫(1980)

## 22 『阿弥陀経』の思想

【全2回】 / 開催方法：対面併用

おか  
**岡**

ひろし  
**宏**

近畿大学生物理工学部  
講師  
中村元記念館  
東洋思想文化研究所  
研究員



受講料 会員料金：¥4,200 早割価格：¥3,200(納入期限：12月8日)

【日程・時間】【全2回】

12月12日(土) 12:30~14:00 / 14:10~15:40

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

『阿弥陀経』は、天台宗・浄土宗・時宗・浄土真宗などにおいて所依とされてきた経典の一つで、サンスクリット語原典のほか、チベット語訳、ウイグル語訳など複数の言語による異本も存在します。

また漢訳では、鳩摩羅什訳の『仏説阿弥陀経』、玄奘訳の『称赞浄土仏説撰受経』があります。この講座では羅什訳『仏説阿弥陀経』をテキストに用い、『阿弥陀経』における思想上の課題について、その説意を考えます。

『阿弥陀経』における思想上の課題（疑問）

- ① 序分の後に別序がないのは、なぜか
- ② 舍利弗は35回の呼びかけ（羅什訳）に対して、なぜ一度も応えなかったのか
- ③ 羅什は「極楽」表記を阿弥陀経のみで用いたのは、なぜか
- ④ 「極楽」（阿弥陀仏国土）は、なぜ西方なのか
- ⑤ 「浄土」という用語が阿弥陀経（羅什訳）で用いられないのは、なぜか
- ⑥ 六方諸仏（36仏）とは
- ⑦ 西方「無量寿仏」の讃嘆とは（羅什誤訳の可能性？）

などについて思想的意味を尋ねてみます。

お気軽にご聴講ください。

第1回「阿弥陀経の思想①」

第2回「阿弥陀経の思想②」

## 2026年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座 年間スケジュール

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	水	1	金	1	月 休館日	1	水 渡辺①	1	土 蓑輪②③	1	火
2	木	2	土	2	火	2	木	2	日 蓑輪①②	2	水
3	金	3	日	3	水	3	金	3	月 休館日	3	木
4	土	4	月 休館日	4	木	4	土	4	火 頼住②③	4	金
5	日	5	火	5	金 齊藤②	5	日	5	水	5	土 保坂①
6	月 休館日	6	水	6	土	6	月 休館日	6	木	6	日
7	火	7	木	7	日	7	火	7	金	7	月 休館日
8	水	8	金	8	月 休館日	8	水 渡辺①	8	土	8	火
9	木	9	土 瀬古③	9	火	9	木	9	日	9	水
10	金	10	日	10	水 清水谷②	10	金	10	月 休館日	10	木
11	土	11	月 休館日	11	木	11	土 瀬古③	11	火	11	金 服部②③
12	日	12	火	12	金	12	日	12	水	12	土 瀬古③
13	月 休館日	13	水	13	土 瀬古③	13	月 下田①②	13	木 休館日	13	日
14	火	14	木	14	日	14	火	14	金 休館日	14	月 休館日
15	水	15	金 齊藤②	15	月 休館日	15	水	15	土 休館日	15	火 石賀①
16	木	16	土	16	火 石賀①	16	木	16	日	16	水
17	金 齊藤②	17	日	17	水	17	金 齊藤②	17	月 休館日	17	木 服部②③
18	土	18	月 休館日	18	木	18	土 岡②③	18	火	18	金
19	日	19	火 石賀①	19	金 齊藤②	19	日	19	水	19	土
20	月 休館日	20	水	20	土	20	月 休館日	20	木	20	日
21	火 石賀①	21	木	21	日	21	火 石賀①	21	金 加藤みち子①②	21	月 休館日
22	水 清水谷②	22	金	22	月 休館日	22	水 清水谷②	22	土 加藤みち子①②	22	火
23	木	23	土	23	火	23	木	23	日	23	水
24	金	24	日	24	水 渡辺①	24	金	24	月 休館日	24	木
25	土	25	月 休館日	25	木	25	土 木村②③	25	火	25	金
26	日	26	火	26	金	26	日 木村②③	26	水	26	土
27	月 休館日	27	水 清水谷②	27	土	27	月 休館日	27	木	27	日
28	火	28	木	28	日	28	火	28	金	28	月 休館日
29	水	29	金 齊藤②	29	月 休館日	29	水	29	土	29	火
30	木	30	土 加藤隆宏②③	30	火	30	木	30	日 中野②③	30	水
		31	日 加藤隆宏①②			31	金	31	月 休館日		

※清水谷②  
6月は第2水曜日

講義時間：①10:15～11:45 ②12:30～14:00 ③14:10～15:40

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	木		1	日		1	火		1	木		1	月		1	月	休館日
2	金	齊藤②	2	月	休館日	2	水		2	金		2	火		2	火	
3	土		3	火		3	木		3	土		3	水		3	水	
4	日		4	水		4	金	齊藤②	4	日		4	木		4	木	
5	月	休館日	5	木		5	土		5	月		5	金		5	金	
6	火		6	金		6	日		6	火		6	土		6	土	
7	水	竹村②③	7	土	田中①②	7	月	休館日	7	水		7	日		7	日	佐久間③
8	木	竹村①②	8	日		8	火		8	木		8	月		8	月	休館日
9	金		9	月	休館日	9	水	清水谷②	9	金		9	火		9	火	
10	土	瀬古③	10	火		10	木		10	土		10	水		10	水	
11	日		11	水		11	金		11	日		11	木		11	木	
12	月	休館日	12	木		12	土	岡②③	12	月		12	金		12	金	
13	火		13	金		13	日		13	火		13	土		13	土	
14	水		14	土	瀬古③	14	月	休館日	14	水		14	日		14	日	佐久間③
15	木	大谷①	15	日		15	火	石賀①	15	木		15	月	休館日	15	月	休館日
16	金	齊藤②	16	月	休館日	16	水		16	金		16	火		16	火	
17	土		17	火	石賀①	17	木		17	土		17	水		17	水	
18	日		18	水		18	金	齊藤②	18	日		18	木		18	木	
19	月	休館日	19	木		19	土		19	月		19	金		19	金	
20	火	石賀①	20	金	齊藤②	20	日		20	火		20	土		20	土	
21	水		21	土		21	月	休館日	21	水		21	日		21	日	佐久間③
22	木	大谷①	22	日		22	火		22	木		22	月	休館日	22	月	休館日
23	金		23	月	休館日	23	水		23	金		23	火		23	火	
24	土	第11回中村元東洋 思想文化賞授賞式	24	火		24	木		24	土		24	水		24	水	
25	日	釈②③	25	水	清水谷②	25	金		25	日		25	木		25	木	
26	月	釈①②	26	木		26	土		26	月		26	金		26	金	
27	火		27	金		27	日		27	火		27	土		27	土	
28	水	清水谷②	28	土	岡崎②	28	月		28	水		28	日		28	日	
29	木		29	日		29	火		29	木					29	月	休館日
30	金	齊藤②	30	月	休館日	30	水		30	金					30	火	
31	土					31	木		31	土					31	水	

冬季休業および  
収蔵品整理作業のため休館

冬季休業および収蔵品整理作業のため休館

冬季休業および  
収蔵品整理作業  
のため休館

※清水谷② 10月は第5水曜日

※清水谷② 12月は第2水曜日

【講義時間に関するご注意】公共交通機関のダイヤ(時刻表)改定により、年度途中で講義時間を変更する場合があります。変更が生じた際はお知らせいたしますが、講義日が近くなりましたら再度ご確認ください。

# 各講座へのお申込みのご案内

## 受講申込・受講料のお支払方法

以下のいずれかの方法でお申し込みください（お電話・FAXでの申し込みはできません）。  
お申し込みは入金を確認できた時点で完了いたします。

### 1. 窓口でのお申込み・お支払い

受講申込書（37ページ）にご記入の上、年会費（文化講座のみ受講の方は不要）、受講料と一緒に提出してください。

### 2. 振込でのお申込み・お支払い

①年会費・受講料を、下記の口座にお振込みください。

〈振込先〉

■ゆうちょ銀行（この冊子に添付の払込票をご利用ください）

口座番号 01370-8-91228 加入者名 中村元記念館

■山陰合同銀行 松江駅前支店（店番号004）

口座番号 普通3692971

口座名義 中村元記念館

注1. 振込手数料はご負担ください。

注2. 振込のご依頼人名と申込書の氏名は同じにしてください。

注3. 振込の場合、領収書の発行は致しません。振込時に発行される控えを大切に保管してください。

②受講申込書（37ページ）にご記入の上、①の振込控えのコピー（ご入金を確認できる書類）と一緒に、郵送でご送付ください。

〈郵送先〉〒690-1404 松江市八束町波入2060番地 中村元記念館宛

## その他

- 頂いた個人情報は当法人の業務のためのみに使用し、ご本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。
- 各講座の開講の有無、回数は予定です。やむを得ない事情により変更・中止となる場合があります。
- 万が一、感染症の発生が疑われた場合は要請を受け必要に応じて保健所等の公的機関へ情報提供を行う場合がございますので予めご了承ください。
- 37.5℃以上の発熱、咳などの症状、その他体調不良の症状のある方、過去2週間以内に感染が拡大している国や地域への訪問歴がある方はご入館をお控えください。

# 2026年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書

◆ 太枠内をご記入ください。

◆ 太枠内をご記入ください。		申込日	年	月	日
ふりがな	生年月日				
氏名	年 月 日				
住所	〒 -				
(緊急の際に連絡がつく番号をお書きください)					
自宅電話	携帯電話				
E-mail	F A X				

◆ 東方学院松江校講座 (No.1~14) を受講される場合は、各受講料の他に3000円の年会費が必要となります。  
中村元記念館文化講座 (No.15~22) のみを受講される場合は、必要ありません。

◆ 受講を希望する講座Noと受講料 (早割適用の場合は早割の受講料) に○をつけてください。

受講する場所に○を入れてください

種別	No	講義名	講師名	受講料	受講料 (早割)	早割 締切日	受講場所		事務局記入欄		
							記念館	自宅	受領日	担当	データ
東方学院松江校	1	『往生論註 (浄土論註)』を読む	齊藤 舜健	¥20,200	¥19,200	4月10日	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	2	現代インドの社会と文化	加藤 隆宏	¥9,000	¥8,000	5月26日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	3	仏教の自然観	渡辺 章悟	¥7,000	¥6,000	6月17日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	4	AI時代に拓かれる仏教の智慧の力	下田 正弘	¥5,000	¥4,000	7月7日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	5	アビダルマの“いし”	木村 紫	¥9,000	¥8,000	7月21日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	6	日本近世における修行道	蓑輪 顕量	¥9,000	¥8,000	7月28日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	7	『正法眼蔵』の思想	頼住 光子	¥5,000	¥4,000	7月28日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	8	「お札」からみる日本仏教	加藤みち子	¥9,000	¥8,000	8月18日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	9	仏教の可能性への探求 一真に日本的なあり方を求めて	保坂 俊司	¥3,000	¥2,000	9月1日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	10	「原始仏教に学ぶ」	服部 育郎	¥9,000	¥8,000	9月4日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	11	「私の『法華経』観 一大乗仏教の心」	竹村 牧男	¥9,000	¥8,000	9月30日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	12	【誠の宗教と社会倫理定義へのいざない】	釈 悟震	¥9,000	¥8,000	10月20日	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	13	親鸞入門 一最も大切な「信心」	田中ケネス	¥5,000	¥4,000	11月4日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	14	インド・チベットにおける瞑想と造形～密教的観想法 (サーダナの世界)～	佐久間留理子	¥7,000	¥6,000	2027年3月2日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
受講料合計 (ア)						円					
年会費 (イ)						¥3,000					
東方学院松江校 お支払い合計 (ア) + (イ)						円					(A)

種別	No	講義名	講師名	受講料	受講料 (早割)	早割 締切日	受講場所		事務局記入欄		
							記念館	自宅	受領日	担当	データ
文化講座	15	初歩からはじめる仏像彫刻	石賀 善章	¥13,800	¥12,800	4月14日	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	16	日本の仏教を理解する 仏教概論入門	清水谷善圭	¥12,200	¥11,200	4月15日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	17	『カタウバニヤット』[死神の秘教]の教えと世阿弥の禱古論 ～伝統芸能修行法の日印比較研究の試み	瀬古 康雄	¥10,600	¥9,600	5月7日	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	18	『唯信鈔』の思想	岡 宏	¥4,200	¥3,200	7月14日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	19	全国の神楽と中国地方の神楽 一その多様性と共通性一	中野 秋鹿	¥4,200	¥3,200	8月25日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	20	伝統芸道香道を学ぶ ～御家流古十組香の中から～	大谷香代子	¥4,200	¥3,200	10月8日	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	21	「衛生」のルーツを探る 一養生、健全学、医制の文献から一	岡崎 秀紀	¥2,600	¥1,600	11月24日	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	22	『阿弥陀経』の思想	岡 宏	¥4,200	¥3,200	12月8日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
中村元記念館文化講座 受講料合計						円					(B)
お支払い合計 (A) + (B)						円					

《提出先》

〒690-1404 島根県松江市八束町波入2060番地 中村元記念館

※窓口へ提出するか、振込控えのコピー (ご入金を確認できる書類) と一緒に郵送してください。

受付	データ	備考



## ●中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集

中村元記念館東洋思想文化研究所の研究員を募集いたします。当研究所は、中村元記念館に所蔵されている中村元博士の約34,000冊の蔵書・資料を活用して、博士が開拓された学問の道をさらに深く探究し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与することを目的とします。

### 〈活動内容〉

- ・隔年発行予定の当館の研究紀要に研究発表をする。
- ・可能であれば、関連する学会で発表をする。
- ・人文科学分野の研究を振興する。

### 〈応募資格〉

- ・人文科学分野の修士号を有する方、または修士号と同等の資格（研究業績等）を有する方。
- ・中村元記念館東洋思想文化研究所の理念に賛同し、中村元記念館を支え、発展させていく熱意のある方。

### 〈応募方法〉

以下の書類を中村元記念館まで郵送してください。採用に当たっては所長による面接を行います。

- ・履歴書（功績書またはそれに準じるものを添付する）
- ・研究課題書
- ・推薦書（大学院での指導教員、所属機関の長またはそれに準じる方によるもの）

### 〈応募締切〉

毎年度 2月末日

### 〈待遇〉

- ・当館所蔵の図書・資料を管理者の同意のもとご活用いただけます。
- ・研究助成金等は当分の間支給いたしません。
- ・研究員に対して会費等の徴収をすることはありません。

### 中村元記念館東洋思想文化研究所

所 長	藤 井 教 公
副 所 長	積 悟 震
主 事	清水谷 善 暁

## ●中村元記念館ボランティアサポーター募集

中村元記念館では、当館の事業にご協力いただける「ボランティアサポーター」を募集中です。

ご都合のいい時間に、ご自分の持ち味や興味を活かしてボランティアしてみませんか。

詳しくは中村元記念館までお気軽にお問い合わせください。

### 〈活動内容の例〉

- ・蔵書整理
- ・イベント運営
- ・附属研修施設の環境整備
- ・チラシ等発送業務
- ・語学（翻訳/通訳）



# 慈しみ

東方学院歌

詞 中村 元  
作曲 中村匡宏

## 慈しみ

一切の生きとし生けるものは、  
幸福であれ、安穩であれ、安樂であれ。  
一切の生きとし生けるものは、幸せであれ。  
何びとも他人を欺いてはならない。  
たとどこにあつても  
他人を軽んじてはならない。  
互いに他人に苦痛を与える  
ことを望んではならない。  
この慈しみの心づかいを  
しっかりとたもて。

いっ さい の い き と し い け る も の は      こ う ふ く で あ れ      あ ん の ん      で あ れ      あ ん ら く で あ  
れ      い っ さい の い き と し い け る も の は      し あ わ せ で あ れ  
なん び と も      た に ん      を あ ざ む い て は な ら な い      た と い      ど こ に  
あ つ て も      た に ん —      を か ろ ん      じ て は      な ら な い      た が い      に た に ん      に  
く つ う      を あ た え る      こ と を      の ぞ ん      で は      な ら な い  
こ の      い づ く し み の      こ こ ろ づ か い      を      し つ か り と      た も      て

## アクセス

### 飛行機でお越しの方

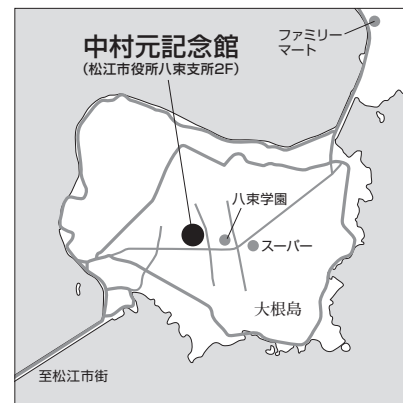
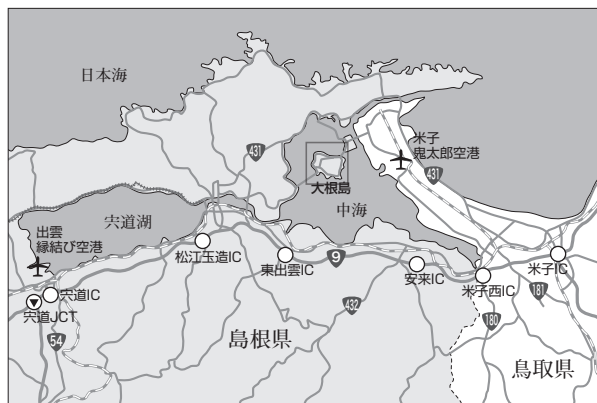
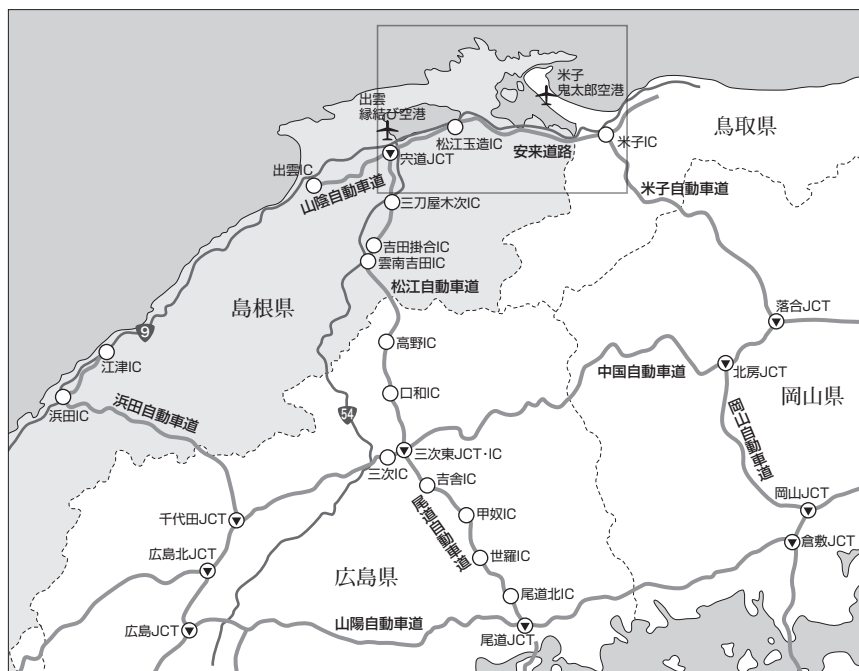
- 【米子空港から】車で約15分
- 【出雲空港から】車で約50分

### 車でお越しの方

- 【広島から】車で3時間（中国自動車道三次I.C.経由）
- 【岡山から】車で2時間15分（岡山自動車道・中国自動車道・米子自動車道）
- 【松江駅から】車で約25分
- 【境港駅から】車で約10分
- 【米子駅から】車で約35分

### バスでお越しの方

- 【松江駅から】
  - ・松江市営バス「八束町」行で約50分、「八束支所・中村元記念館前」下車
- 【境港駅から】
  - ・「まつえのるーと」をご利用ください
  - ※平日のみ
  - ※「まつえのるーと」の詳細は、松江市ホームページをご参照ください





2026年3月 発行

---

発行所 特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所  
〒690-1404 島根県松江市八束町波入2060番地 松江市八束支所2F  
TEL 0852-76-9593/FAX 0852-76-9693  
info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp  
https : //www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/